

分離技術会年会 2018 特別企画

オープンイノベーション 2018

主催：分離技術会

協賛：化学工学会分離プロセス部会／粒子・流体プロセス部会，石油学会，日本海水学会，
日本吸着学会，日本膜学会(予定)

日時：平成 30 年 5 月 26 日(土) 12:30～17:30

場所：日本大学生産工学部津田沼キャンパス

目的：大学の使命は従来の教育，研究に加えて，「研究成果の社会還元」が重要と位置付けられている。一方，企業側でも産官学連携の共同研究を模索している。

本講演会は企業にアピールする講演を狙いとしており，まず，総論ではいわゆる大御所の方々に講演をして頂く，次に，「各論」として分離技術会の会員の方々に企業にアピールする講演をして頂く。

2 年前より分離技術会年会の特別セッションで各論を中心に行ってきた本講演会を今回は，さらに会員の皆様方に実際に役立つ講演会をめざして立案したものである。

皆様方の積極的なご参加を希望します。

プログラム

I. 総論

1. 激変する技術環境と日本の革新力(12:30～13:20)

(東京大学) 吉田 邦夫 氏

2. ハイブリット分離プロセスのシステムティックな構築を目指して(13:20～14:10)

(京都大学) 長谷部伸治 氏

3. 次世代分離技術のハイブリット化(仮)(14:10～15:00)

(早稲田大学) 松方 正彦 氏

II. 各論

1. シンプルな操作で金属イオンの高い分離性能を実現する連続向流泡沫分離法(15:00～15:25)

(名古屋市工業研究所) 木下 武彦 氏，(鹿児島大学) 二井 晋 氏

2. 圧力振動を用いた高粘性流体中からの微小気泡の連続分離(15:25～15:50)

(名古屋工業大学) 岩田 修一 氏

3. 乾燥や細胞破壊が不要な微細藻類からの油脂抽出技術(15:50～16:15)

(名古屋大学) 神田 英輝 氏，後藤 元信 氏

4. 深溝型マイクロ流路を利用した反応晶析(16:15~16:40)

(徳島大学) 外輪健一郎 氏

5. 蒸留と吸着分離のハイブリット化による省エネルギー化(16:40~17:05)

(産業技術総合研究所) 山木 雄大 氏

6. 超臨界二酸化炭素を溶媒とした植物由来の機能性成分の高収率抽出(17:05~17:30)

(日本大学) 陶 慧 氏, 早乙女義明 氏, 今井 正直 氏

- 参加費：会員・共催・協賛団体会員：5,000円，学生：無料，会員外：10,000円，同時入会：10,000円，※参加費は前納にて郵便振替または下記銀行にお振込みくださいますようお願い申し上げます。参加者(学生を除く)には「分離技術のシーズとライセンス技術の実用化」を贈呈します。

郵便振替：00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行：神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

- 申込先：参加ご希望の方は申込用紙にご記入のうえ，下記事務局までFAXにてお申込みください。E-mailでお申し込みの場合は以下の必要事項を全て入力の上，[オープンイノベーション講演会2018参加申込み]と題し返信してください。

オープンイノベーション2018 参加申込書

氏名			
勤務先			
所属			
所在地	〒		
	TEL	FAX	
	e-mail		
会員資格	(正・維持・特別)会員・共催協賛会員・学生会員・同時入会・会員外		
送金方法	郵便振替・銀行振込	請求書	要・不要

申込締切り日 2018年5月18日(金)

〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL: 044-935-2578 FAX: 044-935-2571 e-mail: jimu@sspej.gr.jp

